



フードバンクうつのみや徳山理事長(右)へ米を手渡す横松組合長

食を通じた地域への貢献 NPO法人フードバンクうつのみやを支援



JA うつのみやは地域活性化・SDGsへの貢献を重点取組として、「こども食堂」や「学校給食」への支援・協力を行っています。今回、新たな支援先として、「NPO法人フードバンクうつのみや」へ活動費と食品の提供を行いました。

フードバンクうつのみやでは生活困窮者への食品提供・総合相談支援などを行っています。その中で、新型コロナウイルスの影響により、食品の提供を求める人が急増している現状を踏まえ、当JAが協力することとしました。今回は、会員への入会(活動費3万円)および、JA役員有志から米約150kgや、缶詰・レトルト食品等(段ボール4箱分)の提供をしました。

フードバンクうつのみやの徳山篤理事長は「新型コロナウイルスの影響で、これまで以上に食品の配布を望む声が多い中で、このような支援は大変ありがたい」。JAの横松久夫組合長は「今回、地域活性化への貢献の一環としてフードバンクうつのみやへ初めて支援しました。今後は組合員などにも呼びかけ、支援の輪を広げていきたい」と期待を込めました。

JAでは今後も、フードバンクうつのみやへの協力を継続していくとともに、JA役職員だけではなく、生産者や地域住民にも協力してもらえるよう、活動の周知、呼びかけを行っていきます。

フードバンク
うつのみやへの
ご支援・ご協力に関する
お問い合わせ先

NPO法人フードバンクうつのみや
宇都宮市埴田2-15-11 共生ビル3階
TEL 028(622)0021

JAうつのみや 総合企画課
TEL 028(625)3381

ぜひご協力をお願いします。

優良品質のユリ出荷を 球根切花専門部が目ぞろえ会

12 2月4日
1月14日

東部選果場花き集荷場で行われたユリの目ぞろえ会



球根切花専門部は1月5日、ユリの目ぞろえ会を宇都宮市上籠谷町の東部選果場花き集荷場で開催。部員や県、市場関係者、JAの担当者10人が参加しました。須藤智司専門部長は「優良な品質のユリを出荷するために、しっかりと目ぞろえをしていきたい」とあいさつしました。

目ぞろえ会は、須藤専門部長らが1束、1束を丁寧に掲げ、参加者全員でつぼみの状態などを確認しました。市場担当者は「コロナの影響で

ブライダルイベントの中止などが相次ぎ、需要は伸び悩んでいる。JAうつのみや産はつぼみも大きく、日持ちもするため市場では、高い評価を得ている」と説明しました。

黒星病の防除対策を 梨専門部が防除暦説明会

12 2月4日
1月14日

梨専門部は1月25日、令和3年産防除暦説明会を宇都宮市上籠谷町の東部選果場はじめ同市内3カ所で行いました。清原、雀宮、河内、城山の4支部別で行われ、計60人が参加しました。

東部選果場で行われた清原支部の防除暦説明会には、同支部の役員や県、JAの担当者15人が参加。

県の担当者が令和2年の気象経過、主要病虫害の発生状況と防除の反省点を指摘しました。「黒星病の多発の要因は、散布量の不足、新梢の過繁茂による散布ムラが考えられる。秋冬期に落葉処理を行い、園内から病原菌密度低減を図ること」と今年産の防除のポイントなどを説明しました。

JAの担当者が令和3年の病虫害防除にかかる注意事項を説明しました。昨年、管内全域で黒星病の発生が多かったことから、黒星病の越冬病原菌密度は高く、今年も多発が懸念されるため、今年産防除指針は治療剤を例年より多く組み込みました。「今年の治療剤の使用回数は特別措置であり、治療剤の使用に当たっては、耐性菌発現防止の観点から必要以上に多用しないように注意を払うこと」を呼び掛けました。

JAの橋本誠技術顧問は「今年黒星病対策が重要になる。雨などで濡れている部分が感染しやすくなるので、湯きやすい状態を保ってほしい。落葉処置や雨の前の薬剤散布も大切だ」とアドバイスしました。



東部選果場で行われた令和3年産梨専門部の防除暦説明会

新しい奉耕者へ引き継ぎ 日光東照宮神田奉耕者選定奉告祭

玉串を捧げる松島さん(右)



☐ 光東照宮神田奉耕者選定奉告祭が2月26日、日光東照宮で開かれました。前年度奉耕者など6人が参列しました。

同奉告祭は、令和2年度に日光東照宮神田の奉耕者に選ばれた村田浩孝さん(48)から、令和3年度の神田奉耕者に選ばれた松島享さん(67)へ奉耕者の役割を引き継ぐために開かれました。

当日、松島さんは日光東照宮から委嘱状を受け取った後、玉串を奉納しました。その後、令和3年度の神

田に使用する種もみを受け取りました。今後の耕作については、栃木県農業試験場の指導のもとで行います。

令和3年度の奉耕者の松島さんは今後について「神田の奉耕者という大役を任せられて、とても光栄です。今年の奉耕者として、協力を得て役目を全うしていきたい」と意気込みを語りました。

データの収集方法学ぶ ユリICTを活用した栽培講習会

JA うつのみやは2月26日、第1回ユリICT(情報通信技術)を活用した栽培講習会を宇都宮市上籠谷町の東部選果場で開催しました。部員やJAの担当者ら10人が参加し、データの収集方法・活用方法、ハウス内環境測定の基礎、CO₂施用の基礎などを学びました。

講師は、デルフィージャパンのホーティカルチャースペシャリスト、斉藤章さんが務めました。斉藤さんは、年間100回以上、延べ3000人以上を対象に、施設園芸での実践的な環境制御方法や栽培方法に関する勉強会やセミナーを実施しています。

この日の講習会では、「生産者がデータを自分で収集して解析することが大切。CO₂施用が光合成を高めるため、外気濃度より低くならないような制御が必要」と説明しました。



東部選果場で行われた第1回ユリICT(情報通信技術)を活用した栽培講習会

JA うつのみやに感謝状 イチゴ寄贈で宇都宮市教育委員会

宇 都宮市教育委員会は2月19日、同市内の小学校にイチゴを寄贈したJAうつのみやに感謝状を贈呈しました。

イチゴ贈呈は、児童に「食」への関心を高めてもらう目的で毎年実施しています。今年も約3万人分のとちおとめ796箱を贈呈しました。

この日は、秋田靖学校健康課長が同JAうつのみや本所を訪れ「子どもたちは、おいしいイチゴを毎年楽しみにしています」と感謝状を手渡しました。

横松久夫組合長は「新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、子どもたちも何かと制約が多い中で、イチゴを食べてリフレッシュしてほしい」と話しました。



感謝状を受け取った横松組合長(左)

スカイベリー高い糖度 苺専門部が品質検査



東部選果場で行われた令和3年産スカイベリー品質検査

苺 専門部は2月19日、令和3年産スカイベリー品質検査を宇都宮市上籠谷町の東部選果場で行いました。結果は生産者にフィードバックして、今後の管理・栽培に役立ててもらい、品質の向上を図ることを目的としています。

生産者43人を対象に「品質」「糖度」「詰め方」「色目」など7部門のチェックを行いました。品質は「押せ・傷み」「病虫害」「形質」を点検しました。糖度は前回の調査に続き高く、詰め方も良好との結果が出ました。

JAの渡辺菊男技術顧問は「糖度も高く、食味も良好だった。スカイベリーは高級イチゴとして評価を得ているので、特に適期収穫を心掛けて、糖度が高く、傷みが少ないものを出荷するようにしてほしい」と総括しました。

金婚式を現役で迎えたい(日本農業新聞バレンタイン企画掲載) 宇都宮市の岡田好一・美智子さん夫妻

宇 都宮市竹下町で岡田ぶどう園を営む岡田好一さん(64)・美智子さん(64)夫妻は今年で結婚40年を迎えます。2月のバレンタインデーを前に好一さんは、バラの花束を美智子さんにプレゼントしました。二人三脚でブドウを中心に果樹栽培を続けているオシドリ夫婦は「この後、10年間は健康に気を付けて、金婚式を迎えたい」と口をそろえています。

美智子さんは結婚後、義父母の介護、家事一切、子育てをしながら、好一さんとブドウ、栗、梅の果樹を中心にトウモロコシ、トマトなどの野菜を作り続けています。好一さんは「とにかく明るい性格で、愚痴ひとつ言わずに、40年間もよく働き続けてくれた」と感謝の言葉を口にします。近所で評判の働き者の美智子さんの姿は、内助の功で有名な戦国武将、山内一豊の妻、千代をほうふつさせると言っても決して過言ではありません。

3年前、長男の貴志さん(34)に経営を譲りますが、栗と梅の管理は今でも2人の仕事です。昨今の気象温暖化対策として、ユズとミカンの苗木も、試験的に定植しました。現役の果樹栽培農家の心意気を示しています。

農地の有効利用を今後の課題と上げる2人は「お互い元気で農業を続けていき、金婚式を迎えることができれば最高に幸せだね」と言い切りました。岡田夫妻の現役続投はまだ夢の途中です。



「40年間、支えてくれてありがとう」と言って花束を美智子さんに手渡す好一さん

水稲



昨年は台風による被害はありませんでした。8月下旬以降の降雨により、稲が倒伏した圃場が見受けられました。

気象変動の影響を最小限に抑え、収量、品質を安定させるのに必要な適切な土づくり、水管理を行うために計画的な準備をしていきましょう。

がっしりした苗を育てる温度管理

ビニールハウスで平置出芽を行うときは、ハウス内温度が35℃以上にならないよう好天の日はハウス換気に気をつけましょう。緑化後は、左表の温度管理をして、いずれの時期も30℃を越えないようにし、苗が大きくなるに従い外気に慣らします。

育苗初期	昼間 25～18℃ 夜間 10℃ 最低でも5℃以上
育苗中期	昼間 25～18℃ 夜間 7～5℃

水の管理

灌水は早朝から午前中を基本とし、夕方は灌水しないようにします。苗が小さい時期や低温・曇雨天の日は葉からの蒸散も少ないので必要以上に灌水

しないようにしましょう。灌水過多は根が生育不良になり徒長します。また「ムシ苗」の発生原因にもなりますので、灌水を控えめにし、夕方には地表が乾く程度にしましょう。
緑化後に天気が悪く、日中も葉先の水消えが早いときは、灌水をやめ換気をしましょう。移植直前にはサイドビニールを開け十分な換気をして外気に慣らします。

田植えの準備 深く耕す

深く耕すと根張りが良くなり、登熟が向上します。また、白未熟粒や胸割れ米の発生を抑えられるとともに、食味の向上にも繋がります。ロータリーで速度を落として耕耘すれば、通常のトラクターでも十分なので、15cm以上の耕深を目標に丁寧に碎土しましょう。

除草剤の効きを良くするために

雑草を抑える除草剤は、省力と生産安定に大変な効果をもたらしますが、ときに期待した効果が得られないことがあります。

水田の草種や発生量にあった除草剤を選び、袋や容器の「使用上の注意事項」に従って使用するのが確実に効かせる方法といえます。

大部分の除草剤は「4～6cmのやや深水として散布後1週間位落水・かけ流しをしない」としています。これは、除草剤が水に溶けて処理層ができるまでに必要な日数なので、実施したい事項です。そのために田植え前の作業で次のことに注意しま

しょう。
●畦塗りをし鼠の穴等をしっかりと塞ぎ、畦畔からの漏水を防ぎましょう。
●深水は薬害に、土の露出は除草効果の低下につながります。代かきを丁寧に行い、高低差を少なくしましょう。

麦



今年産麦の生育は平年通り推移しています。赤かび病防除や収穫時期について、麦の生育を見ながら計画的に行いましょう。

赤かび病防除

麦が凍霜害を受けた場合は、不稔粒の発生が心配されるので赤かび病防除をしっかりと行いましょう。

二条大麦は、穂揃期7～10日後が薬剤防除の適期です。使用時期は収穫21日前までなので注意しましょう。



湿害を受けた麦

小麦は、1回目散布を開花始めに行い、2回目の散布を1回目の散布の20日後に行います。使用時期は収穫14日前までなので注意しましょう。

排水溝の補修

気象庁の予報で4月の降水量はほぼ平年並みですが、近年では季節外れの大雨が降ることがあります。また、田植の準備に伴い隣接圃場からの浸水もありません。麦にとつて圃場の排水は収量・品質を落とす要因になるので、稲の作業が忙しくなる前に、排水溝を補修し、速やかに排水ができるようにしましょう。

カラスムギの駆除

カラスムギの種子は大きく、麦に混入した場合、選別機で完全に除去することは不可能です。

カラスムギは脱粒しやすいので、放置すると圃場に種子が落ち、翌年には急増します。

除草剤で除去することが出来ないの、見つけ次第株ごと抜き取りましょう。抜き取った株は圃場から確実に持ち出して処分しましょう。



圃場に発生したカラスムギ

上河内支所 **だより**

各支所の活動や地域の情報をお届けします!



羽黒山

羽黒山は、宇都宮市北東郊外の今里町にある標高458mの低山で、気象条件が良ければ、山頂からは筑波山をはじめ富士山を望むことができます。地元では、親しみをこめて「おはぐろさん」と呼んでいます。最近では、パワースポットとしても脚光を浴びていますが、ハイキングコースとしても人気です。

山頂部に鎮座する羽黒山神社の鳥居前の参道には蠟梅(ロウバイ)が植えられていて、見頃の時期には、絶景とともに美しい黄色の花を見ることができます。

毎年11月23日に行われる「梵天祭り」は、五穀豊穡、家内安全を願って「梵天」を神社に奉納する盛大な祭りです。梵天の房が付けられた長い竹竿を担ぎ、威勢のよい「ホイサ、ホイサ」の掛け声とともに羽黒山頂上にある羽黒山神社までの参道を練り歩きます。

羽黒山には、人間がまだ誕生しない大昔、でいたらぼっちが羽黒山に腰かけて、鬼怒川で足を洗ったという、でいたらぼっち伝説があります。

季節は春。皆様も歴史と自然が豊かな羽黒山をハイキングしてみませんか。



羽黒山神社の鳥居



可憐な蠟梅と展望台からの絶景
 (令和3年2月25日撮影)



悠久の時を刻む大杉

下小倉下組の大杉

推定樹齢400年とされるこの大杉は、享保8年(1723年)五十里洪水のおり、一面濁流の中、この大杉のところだけは水につからず、人々の命を救ったと言われています。以降、近隣の人々の厚い信仰を受け続けています。

高さ18メートル 太さ3.8メートル
 市教育委員会文化財(028-632-2764)

各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支所 028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター 028-665-0550
南部支所 028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター 028-658-6565
城山支所 028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター 028-656-8484
北部支所 028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター 028-660-3535
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター 028-674-2164
清原支所 028-667-0151	河内営農経済センター 028-673-6911
姿川支所 028-658-6881	南河内営農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川営農経済センター 0285-55-1511
河内支所 028-673-3135	

キャッシュカードの紛失・盗難
 フリーダイヤル0120-082065

夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
 事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

JA葬祭(24時間受付)
 アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
 アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
 アトラス上三川ホール 0285-55-1555

LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配送
 フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
 ※緊急連絡先028-633-0085